

第2号議案

平成22年度事業実績 及び平成23年度事業計画

(4) エネルギーデバイス 市場・技術研究会事業

平成23年7月28日

みやぎ高度電子機械産業振興協議会 平成23年度総会

【H22】 研究会の活動方針・事業概要

Business – Matching（新規取引・取引拡大）

県内立地の既存デバイスメーカーの存在，精密機械製造業・電子部品製造業の集積などの強みを活かし，デバイスメーカーや関連製品のセットメーカーとの新規取引・取引拡大を目指す。*（短期的取組）*

【H22事業概要】

- ・市場・技術セミナーの開催
- ・工場見学会の開催
- ・取引拡大のための情報収集
- ・ビジネスマッチング・商談会
- ・展示会への共同出展
- ・東北他県との連携検討

Development – Matching（新製品開発・新市場開拓）

環境・エネルギーの広範な市場群に対し，先行事例・ニーズ調査によりテーマを設定。各デバイスを効果的に組み合わせた新製品の開発により，新たな市場を開拓する。*（長期的取組）*

【H22事業概要】

- ・テーマ別分科会の企画・開催
- ・産学連携による開発支援
- ・県・国の環境・エネルギー施策との連携
- ・県産技センターによる技術・開発支援
- ・ニーズ把握・情報収集

【H22】 事業活動実績

研究会名称

エネルギーデバイス 市場・技術研究会

構成員数

86団体 (2011/06/30現在)

H22事業実績

(1) 研究会の開催(セミナー等)

- ① FPD-液晶/有機EL関連 (日本半導体製造装置協会 様)
- ② 燃料電池, 二次電池関連
(東北大学 伊藤隆准教授, ソニーエナジー・デバイス(株) 様)
- ③ LED関連 (LED照明推進協議会, 東芝ライテック(株) 様)
- ④ 太陽光発電関連 (日本半導体製造装置協会 様)

(2) 分科会の開催

- ① 東北大学エコハウスプロジェクトと直流給電アプリケーションを考える会
- ② 太陽光発電システム設置に係る設計・施工の課題解決を研究する会

(3) 展示会の共同出展

国際二次電池展 バッテリージャパン (県内企業3社)

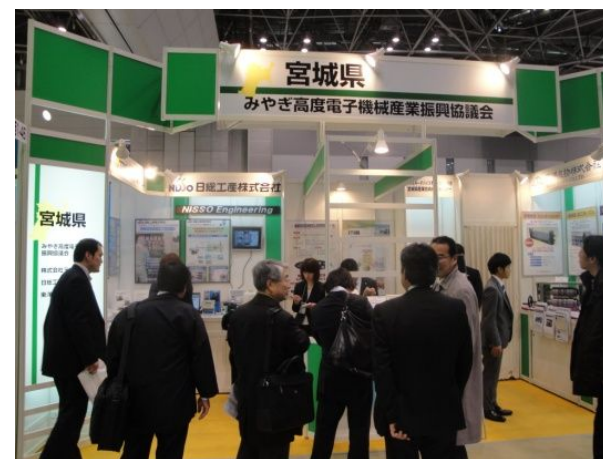
[来場者数 90,011人(全体) / 297人(ブース来場者数概数)]

(4) アドバイザーによる開発支援(個別支援)

(5) みやぎ環境税事業の検討



研究会活動の様子



国際二次電池展出展の様子

これまでの活動を振り返って(課題整理)

Business – Matching (新規取引・取引拡大)

◆課題: ビジネスマッチング・商談会の企画・開催

- セミナー開催からビジネスマッチングへの展開
- 東北6県による連携分野の設定
- 工場見学等の製造現場の訪問・調査

Development – Matching (新製品開発・新市場開拓)

◆課題: 県による開発テーマ(マーケティング)の調整

- 実証フィールドにおける具体的な連携フェーズへの展開
- 分科会活動における開発アプリケーションの発掘

< 課題解決に向けた対応策 >

- 取引分野・ターゲットの明確化
- 展示会・ビジネスマッチング開催実現に向けた積極的な企画・提案
- 新規開発案件の発掘

H23 研究会の取組方針

エネルギーデバイス市場・技術研究会 取組方針

新規取引・取引拡大

セットメーカーと県内ものづくり企業を結び付けるために必要な知識の習得・情報共有，セットメーカーとのネットワーク構築を図りながら，**環境・省エネルギー分野**における**新規取引**や**取引拡大**を目指す。

新製品開発・新市場開拓

環境・省エネルギー分野をターゲットとして，キーデバイスであるエネルギーデバイスを活用した**新製品の開発**を促進し，**新たな市場を開拓**する。

今年度は，震災からの復旧・復興に向けて，次の視点で更なる展開を目指す。

- 国・県・市町村の施策(事業)と連携・連動した活動の展開
- 復旧・復興関連需要の地域への取込
- 新製品開発プロジェクトの創出

H23 研究会活動の取組内容(方向性)

新規取引・取引拡大

情報共有・提供・発信

- **エネルギーデバイス及び環境・省エネルギー分野に関する情報の提供**
 - ・「市場・技術セミナー」開催による市場理解, 事業化に当たってのノウハウ習得
- **展示会出展による情報発信, 復興に向けたPR活動の展開**
 - ・県内企業の技術力・提案力をPRする場として, 首都圏開催の展示会を積極的に活用
- **国・県・市町村・の復興計画・まちづくり施策との連携**
 - ・国・県・市町村の復興・まちづくり施策(クリーンエネルギー活用施策)との連携を模索
→県内企業の技術・製品等に関する情報提供, 地産地消モデルの検討・提案

新製品開発・新市場開拓

アドバイザーによる実用化支援

- **研究会アドバイザーの知見を活かした個別支援の実施**
 - ・産産連携, 産学連携も含めた, より製品出口に近い形での助言・指導を行い, 「目的/出口/役割」を明確化した早期の製品化・上市を目指す。

新製品開発に向けた情報提供

- **新製品開発のヒントとなる関連情報の収集・提供**
 - ・環境・省エネルギー分野の「マーケティングセミナー」開催
 - ・学術研究機関や関連企業を視察する「ラボツアー」企画

H23 研究会活動による市場参入イメージ①

エネルギーデバイス

給電デバイス
(エネルギー供給)

キャパシタ

- ・積セラ
- ・タンタル
- ・アルミ
- ・電気二重層キャパシタ



蓄電デバイス
(エネルギー蓄積)

二次電池

- ・NiMH電池
- ・LIB電池



発電デバイス
(エネルギー変換)

発電機

- ・燃料電池
- ・太陽電池
- ・風力電池



省エネデバイス

環境配慮型デバイス

- ・LED
- ・有機EL



蓄エネ

創エネ

省エネ

キャパシタ等の給電デバイス, 二次電池(Ni水素・Liイオン)等の蓄電デバイス, 燃料電池や太陽電池等の発電デバイス, LED等の省エネデバイス, 若しくはそれらを組み合わせたデバイス群

エネルギーデバイスをキーデバイスとして, その利活用が期待される

環境・省エネルギー関連市場への参入

H23 研究会活動による市場参入イメージ②

研究会の市場参入ターゲット

要素技術／部材・設備機器

- ・革新型デバイス
(蓄電池・PV・燃料電池)



- ・付帯・関連部品



- ・製造装置・評価機器



エネルギー機器

- ・環境配慮型製品



- ・次世代照明
(LED・有機EL)



統合システム

- ・スマートグリッド
(マイクログリッド)



- ・スマートハウス
(エコハウス・EV)



- ・地域復興プロジェクト
(エコタウン, メガソーラー)

エネルギーデバイス市場

+

環境・省エネルギー関連市場

～復興に繋がる地域貢献, クリーンエネルギー産業の集積を目指す～

H23 研究会事業スケジュール

| | 新規取引・取引拡大 | 新製品開発・新市場開拓 |
|-----|-------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 4月 | | 【随時】 ○アドバイザー派遣 （中里忠道氏, 佐々木孝治氏） ○継続案件のフォローアップ |
| 5月 | | |
| 6月 | | |
| 7月 | 省エネ・節電対策セミナー（協議会） | |
| 8月 | BM活動（検討案件を含む） | |
| 9月 | 展示会①「国際フロンティア産業メッセ2011」（兵庫県） | |
| 10月 | 市場・技術研究会①（メーカー/業界団体による市場セミナー） | |
| 11月 | | マーケティングセミナー |
| 12月 | 展示会②「エコプロダクツ2011」（東京都） | |
| 1月 | | ラボツアー |
| 2月 | 市場・技術研究会②（メーカー/業界団体による技術セミナー） | |
| 3月 | 展示会③「二次電池・PV関連展示会」（東京都） | |